



# おうちで田んぼ



たねからお米をそだててみましょう！

～田植え編～

こんにちは。小さなたねがお水の中で変身していますか？

ねぼすけ種モミからきつと白いおヒゲのようなものがでてきていると思います。これが葉っぱになりますよ。

種モミのちっちゃなカラダに秘めた力強さを感じる苗ちゃんたち。この苗ちゃんがもっと大きく背伸びするためにもう少し大きな器にお引越ししましょう！

今回も、たのしみながら家族で「お米づくり 田植え」に挑戦してくださいね♪



## たねからお米をそだてるながれ

事務局“こめたいちょう”の  
神田浩行も応援します！

- 1 たねを眠りから覚ましましょう ～浸種・発芽～
- 2 苗をそだてましょう ～育苗～
- 3 お引越ししましょう ～田植え～
- 4 水をやりましょう ～水やり／防鳥～
- 5 収穫しましょう ～いねかり～
- 6 乾かしましょう ～天日干し～
- 7 もみをとりましょう ～脱穀～
- 8 春をむかえる準備をしましょう ～種取り～
- 9 皮むきしましょう ～もみすり～
- 10 いよいよたべましょう ～玄米～
- 11 わらで正月をむかえましょう ～わら細工～



今回は「3 お引越し～田植え～」と「4 水やり～水やり／防鳥～」です  
**お引越ししましょう ～田植え～**

### □ 準備

- ・そだった苗（葉っぱが5cm以上で、2枚以上になった苗。）
- ・バケツやプランターなどミニ田んぼとなる容器

10ℓ以上（大きいほうがよい）のバケツや深めのプランター、発泡スチロールなど各ご家庭で入手しやすい容器。

## ・土（黒土と赤玉土の小粒）

バケツなど容器の7～8割くらいまでの土。黒土と赤玉土が半々になるくらい。

例 10ℓのバケツだと黒土 3.5～4ℓ、赤玉土 3.5～4ℓ

## ・肥料（化成肥料）

8-8-8とかかれた化成肥料 10ℓにつき 10g（ペットボトルキャップ 1杯で 7g くらいなので、山盛り 1杯分）



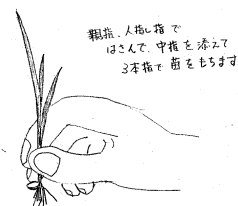
バケツの田植えとプランターの田植え

### □ 田植えのしかた

- 1 田植え前日までに、バケツなど容器に土と肥料、水をいれます。
- 2 土と水をよくまぜてドロドロのチョコレートのようにします。水を入れすぎると水ばかりになってしまいます。少しずつ入れて下さい。（手もバケツ周りも泥だらけになりますよ。）最終的に土がヒタヒタになるくらいまでの水を入れます。

3 この土と水をよくまぜる作業を「代かき<sup>しろ</sup>」といいます。これで最低1晩置きます。

4 田植え当日、育った苗の3本（3粒分）をひとつにまとめて泥に挿します。種モミのすぐ上を持って下さい（右図）。葉っぱを持って挿すと茎が折れてしまいますのでご注意！



5 バケツなら3箇所<sup>ところ</sup>に植えて下さい。（右図）

もっと苗がある場合、一つの束を3本（3粒）でなく4本や5本にまとめて植えるか、別の容器（土と水、肥料）を準備して、同じように植えましょう。1本植えも試してみるとどのように違ってくるか比べられますね。

6 土の上1cm くらいの深さまで水をいれたら、田植えは完了！日当りの良いところに出してあげて下さい。

### 水をやりましょう その1 ～水やり編～

“イネはお水が大好きです”

- 1 毎日観察して水が無くなったら給水してください。
- 2 土に混じっていた微生物が水中を泳ぐかもしれません。ほんとに小さい生き物です。また土から草が生えてくるかもしれません。「雑草」といわれますが、これも田んぼの仲間です。葉っぱの形や花を楽しみましょう。（多くなったら抜きます。）
- 3 「雷がよく鳴ると稲が良く育つ」といいます。雷雨のときは外に出して雨にあてましょう。雷の放電で空気中の窒素がイオン化して雨に混じりイネの栄養になります。

～次回、水をやりましょう その2 ～防鳥編～ につづく！～